



各 位

2025 年 2 月 27 日

会 社 名 ジェコス株式会社
代表者名 代表取締役社長 野 房 喜 幸
 (コード：9991 東証プライム)
問 合 せ 先 経営企画部長 谷 垣 顯 治
 (TEL. 03-6699-7404)

新理念体系の策定およびコーポレートロゴの変更について

当社は、新たな中長期戦略の拠りどころとなる「新理念体系」を策定するとともに、新理念体系に込められた想いを社内外に浸透・発信していく取り組みの一環として、コーポレートロゴマークを変更することとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 新理念体系策定にあたり

当社グループは、2017 年 11 月策定の『ジェコスグループ 10 年 VISION（2018～2027 年度）』実現に向けた第二段階として、事業規模・利益水準の拡大を目指し、2025 年 3 月期を最終年度とする「中期経営計画（2021～2024 年度）」達成への取り組みを進めてまいりました。

しかしながら、『10 年 VISION』策定時から約 7 年が経過し、この間、国内外の社会・経済情勢、並びに当社グループを取り巻く環境も大きく変化し、当社の業績にも大きな影響が生じました。

外部環境は常に変化し、将来の見通しが不透明な事業環境においても、当社が持続的に成長していくためには、長期的視点に立ち、どういう会社で在りたいかを定め、そこから遡って今やるべきことを定めていくことが重要と考えており、今回、『10 年 VISION』に代わる、当社の中長期戦略の拠り所となる新たな方向性＝『新理念体系（目指す姿）』を策定することとしました。

その決定にあたっては、社員一人ひとりが同じ志を持ちながらともに歩んでいくための道標となるよう、社員インタビューやアンケートなどを通じて集約した社員の想いも反映させることに注力しました。

2. 新理念体系（目指す姿）と事業戦略

PURPOSE（わたしたちの存在意義）

「支える力」で、未来を拓く。

MISSION（企業としての使命）

多様な力を結集・発揮し
社会の課題や期待に応え続けることで、
すべての人が安心と発展を感じる
未来づくりに貢献します。

VALUES（大切にする価値）

- ・人に寄り添う
- ・チームワークで応える
- ・挑戦し続ける

当社の存在意義は、「支える力」ですべての人に明るい未来を拓いていくことにあります。その実現のため、これまでの「支える力」を更に拡充させる事業戦略を推し進めてまいります。重仮設事業を核に、事業領域を拡大し、同時にグループ力の強化を図ることで、新たな「支える力」を発揮し、社会課題の解決に取り組み、期待に応え続け、すべての人が安心と発展を感じる未来づくりに貢献します。その中で、人に寄り添い、チームワークで応え、挑戦し続けることが、目標達成への原動力であり、大切な価値であると考えております。

また、これまでの企業理念はすべての礎となる考え方＝『創業理念』と再定義し、創業期からの精神を継承してまいります。

<新理念体系図>



3. 新コーポレートロゴマークについて

当社は、新理念体系に込められた想いをより体現できるデザインに、コーポレートロゴマークを変更することとしました。新コーポレートロゴマークは、新理念体系と同様に、全社員投票によって決定しました。



中央に配したマークは、「上向きの矢印」をイメージした2本の太い線で構成され、英字社名の頭文字「G」を表しています。この線は、お客様だけではなく仲間やグループ会社、協力会社とともに社会基盤を支え、未来を拓きながら成長していく様子を表現しています。

また、カラーリングには色味の異なる2色の青を採用することで、「柔軟さ」や「誠実さ」、「信頼」、明るい未来の象徴とも言える「青空」を想起できるデザインとしました。

※新コーポレートロゴマークは、2025年4月1日より使用開始予定です。

4. 今後の活動

当社は、今般策定した目指す姿実現に向けて、2026年3月期を初年度とする「中期経営計画（2025～2027年度）」をその基盤固めの期間と位置づけております。中長期にわたって「支える力」を発揮すべく、重仮設事業を核とした事業ポートフォリオの多様化や、グループ力強化に取り組んでまいります。

なお、新理念体系を踏まえた「中期経営計画（2025～2027年度）」は、2025年3月26日公表予定です。

当社は、新理念体系に基づき、ジェコスグループならではの新たな価値を創出し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

PURPOSE

「支える力」で、未来を拓く。

ジェコスは重仮設工事のプロフェッショナルとして、
長きにわたり「支える力」を発揮してきました。
これまでもこれからも、お客様や仲間、すべての人の
明るい未来を拓くため「支える力」で社会へ貢献していきます。



以 上